



# わっぱらんど

先人の知恵を憩いの場に



# わっぱらんどは、 使う人みんなで作る、 手づくり公園です!

上原温水路「ぬるめ」を中心とした、水と緑の自然公園「わっぱらんど」。「ぬるめ」を農業資産として保全・継承しながら、周りの空間を有効活用し、人々の憩いの場所にしようと、市民主体の活動が1999年から続けられてきました。

英国発祥の環境保護活動「グラウンドワーク」に学び、市民・行政・企業の三者がパートナーシップを組んで進められてきた市民協働の成果です。

一緒に活動して下さる個人・団体を募集しています。環境整備・イベント運営に参加してみませんか?

## 豊かな自然環境

わっぱらんどで見ることができる樹木や植物は300種類以上。見たり、触れたり、嗅いだりして、それぞれの特徴を学ぶことができます。



## 野生動物との出会いも

わっぱらんど周辺は野生の猿の群れの生活の場です。四季を通して目にすることができます。また、カモシカの通り道にもなっており、運が良ければ出会えます。クマやハチ、ヘビなどの危険生物の生息域ですので、十分注意して遊んでください。

山砂を撒いて固めた散策路で季節の花や樹木の観察が可能

## 遊歩道

▼**水飲み場**  
手洗いと水飲みが可能。市営水道です。

▼**トイレ**  
男性用1、女性用1、多目的1の合計3つ(冬季閉鎖)

▼**流入口**  
温水路に水が流れこむ場所。深いので近づかないで下さい。

▼**管理センター**  
現地事務所と倉庫を兼ねた建物。普段は人はいません。

▼**ツリーハウス**  
▼**温水路ぬるめ**

▼**流出口**  
温水路「ぬるめ」の水は、ここから田んぼへと流れ出ていきます。

▼**わっぱら池**  
池の周りではいろいろな種類のトンボが見られます。池は深いので子どもだけで行かないこと。

▼**わっぱら畑**  
地元の方から畑を借りてソバを蒔いたり花を育てたりしました。



スマホで現地の様子を  
確認できます。



## 小さな子どもでもOK! 理想的な水遊び場所

敷地内を流れる水路「ぬるめ」の水深は、わずか10センチ程度。見通しが良く、大人が目が届きやすいのも大事なポイントです。ただし、安全のため裸足で水路に入るのはおやめください。



- ご利用に際してのお願い
- ◆水を汚さないでください。
- ◆水路に異物を流さないでください。
- ◆火を使わないでください。
- ◆木を切ったり、枝を折ったりしないでください。
- ◆ごみ(可燃物(生ごみ等)、不燃(空き缶、空きビン等))は、すべてお持ち帰りください。

イベント・整備作業の問合せ：(特非)ぐるったネットワーク大町 ☎0261-85-0556  
土地管理者：大町市農林水産課 ☎0261-22-0420 (代表電話)

# ぬるめの成り立ちと開拓の歴史

わっぱらんどを流れる上原温水路（通称：ぬるめ）は、上原集落の米づくりのために造られたものです。上原集落は戦後の入植でできた村で、50 ha 程のまとまった水田が開墾されました。傾斜地ゆえの広い畔、あちこちに残る手積み石積に、当時の苦勞がしのべれます。

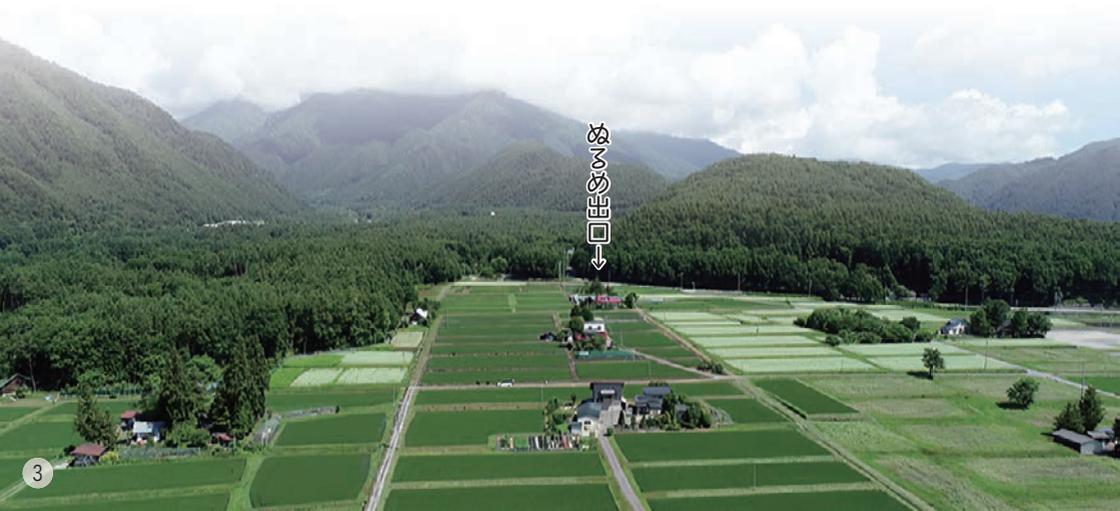
水田を潤す水は箆川から引きますが、北アルプスの雪溶け水を源とする急流の水は冷たく、稲作に適したものではありませんでした。そこで人々は、川の水を広く浅く流す温水路を造ることで、田んぼにかけのる前に冷たい水を少しでも温めることを考えました。それがこの「ぬるめ」です。

開拓後数年して田んぼで稲作が始まった頃、上原集落の米の収量は1反あたり4～5俵でした。平成30年の長野県の実績が約10俵なので半分以下だったわけです。温水路ができた後には水温は3℃上がり、収量が7～8俵になったそ

うです。水温を1℃あげると米が一俵増収することをいう「一度一俵」は、こうした実体験から生まれた言葉なのです。

わっぱら  
上原開拓の歴史

- 1948 (S23) 上原開拓始まる  
入植者 30 戸
- 1954 (S29) 電気導入
- 1958 (S32) 水道入る
- 1959 (S33) 上原神社建立
- 1962 (S37) 温水路できる
- 1968 (S43) 開拓完了 (20年経過)  
(1戸当り1町5反)
- 1975 (S50) 上原霊園できる
- 1979 (S54) 運動広場できる
- 1979 (S54) 温水路付替工事開始
- 1982 (S57) 付替工事完了



「ぬるめ」は、幅 16 m 全長 300 m、コンクリートできており、暑い日にはこの水路を流れる間に水温が3℃も上昇します。現在の「ぬるめ」は昭和56年に付け替えられたものですが、それ以前の「ぬるめ」は幅が今の半分、全長が今の倍もあり、上流は今のゴルフ場の中を流れていました。昔の水路跡は「わっぱらんど」内に現在でも残っており、一部は駐車場や散策路として利用されています。

## 「ぬるめ」誕生の創作民話へそすりの池

語り：大町民話の里づくり もんぺの会

次のQRコードから音声ファイルを聞くことができます。



<https://grutta.net/img/monpe/hesosuri-no-ike.mp3>



県内でもめずらしいこの「ぬるめ」。旧水路の敷地も含め、周辺2haが市有地となっています。その土地を活用しようという市の呼び掛けに応じて、1999年に、市民・行政・企業の協働による公園づくりが始まりました。今では安全に遊べる水辺として、多くの市民や観光客に親しまれています。



上原に入植した開拓団（昭和25年撮影）

# さまざまな活動を写真で紹介



2000年6月 みんなで橋をかけました



2002年6月  
ピオトープ池づくり



2004年6月 野外ステージ建設



2009年5～10月  
10周年を記念してツリーハウスを建設しました

**ぼくらが創るぼくらの公園**  
「温水路のまわりをボランティアで整備して公園をつくらう」——一九九九年秋、大町市の呼びかけで、活動がはじまりました。以後20年に渡り、市民主体で公園の整備・活用を行っています。



1999年秋 整備前のようす



橋は土砂上げのために秋に撤去し、春にまた設置していました。



2005年6月 土砂を上げてできた広場に木を植えました



2008年10月 間伐材の薪づくり

# 次世代につなぐ先人の知恵

農業資産の活用に当たり、昔からの農家の営みや、そこに伝わる知恵の継承も大切にしています。



間伐材を原木に、きのこのコマ打ちイベントを開催



畑を使わせてもらって農業体験



水温や流速を測るぬるめ調査隊



秋の自然観察



ピオトープ池の生き物観察



イベントでは高所作業車に乗って上空から水路見学開拓の歴史と「ぬるめ」の役割を伝えます。



学生の森林実習のフィールドにも、林業士から森林整備を学びます。



海外からの視察受入れも

# 子どもたちの学びのフィールドとして



冬の雪上運動会

子どもたちの自然体験やぬるめ観察をプログラム化し、市内小学生の課外事業や学習旅行の受け入れも始めました。お気軽にお問い合わせください。



野外活動の危険を伝える紙芝居



竹の水鉄砲づくり (武蔵林業社)



水車をつかって水力発電に挑戦 (NPO 地域づくり工房)



夜間昆虫観察(昆虫博士宮田渡先生)



森のめぐみで作るどうぶつたち (千年の森自然学校)



上原地区をめぐるウォークラリー (上原に住む方々)



わっぱらんどと温泉郷を中心とした地域づくりワークショップ (NPO 地域づくり工房)



木工作体験(大北林業研究グループ)



日光写真の作品制作と展示 (原始感覚美術祭)



わっぱらんど誕生の創作民話「へそすりの池」の語り (大町民話の里づくりもんぺの会)



大町青年会議所と大町商工会議所青年部には、当初からさまざまな作業やイベントに協力してもらっています。



お散歩の会「まつぼっくり」や野外保育「風の森」のつみき作り



アロマで虫よけスプレー作り (アロマセラピスト 細田恵莉さん)



毛鉤づくり体験 (大町水物語の会)

初期から一貫して、様々な市民活動等との協働を求めてきました。それぞれの得意な分野を活かした公園づくりへの協力●のほか、体験プログラムの提供●や地域づくりのためのワークショップ●、お母さん向けの情報交換●、ミニコンサート●などが行われています。

### さまざまな協働を求めて



2003年 アルプスシンフォニックバンド



2004年 白馬おじさんバンド



新バスもくちゃんの燃料づくりと試乗体験 (北アルプスバイオマスを考える会)



2004年 大町流鏝馬太鼓



2004年 平川地一丁目



2019年 仁科台中学校吹奏楽部



夏祭りの模擬店や作業協力(十日会)



イベントでの出店や作業協力 (信濃大町のつけものや)



2009年、2010年 二胡奏者 劉鉄鋼さん ピアノ奏者 越智健二さん

## 次の20年に向けて

ヤブに覆われていた温水路を自然と触れ合える憩いの場所にしようという当初の目的は、ある程度達成できたかと思います。しかし、現状を見ると、公園を利用する側と整備をする側に二分されてしまったように感じます。もともとは自分たちで公園を作ろうと始まった活動ですので、原点に立ち返って、一緒に活動に参加してくれる人を増やしていくことが、今後の大きな課題だろうと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。また、当初計画の中で手付かずの整備もありますので、それらにも取り組みたいと思っています。

わっぱらんどを育む会 会長 小林 敏博

行政・企業・市民の連携で20年が経ちました。関わっていただいた多くの皆様に御礼申し上げます。「わっぱらんど」は地図にも掲載されるほど認知されて、市民に愛される場所となりました。全国的にも珍しい温水路「ぬるめ」は、皆さんに安心して使っただけの親水公園のシンボルとしての役割も加わり、今も人々の生活を支えています。先人の知恵を次世代にも引き継ぎ、今後の活動に活かしていきたいと考えております。今後とも、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

わっぱらんどを育む会 幹事 佐藤 悟

上原地区の北西端にある「わっぱらんど」は、人が生活する里と動物の住む奥山との境界であり、野生動物と人の交錯する絶妙な立地環境にあります。僕らの持っている自然観は、里山における人と自然との関わり方の二千年もの体験の蓄積で、身近な自然の存在はとても重要です。この場所に行政だけでなく、市民が関わっていることで、大人が子どもにより深く関わって一緒に遊んだり、体験できる場所になっています。

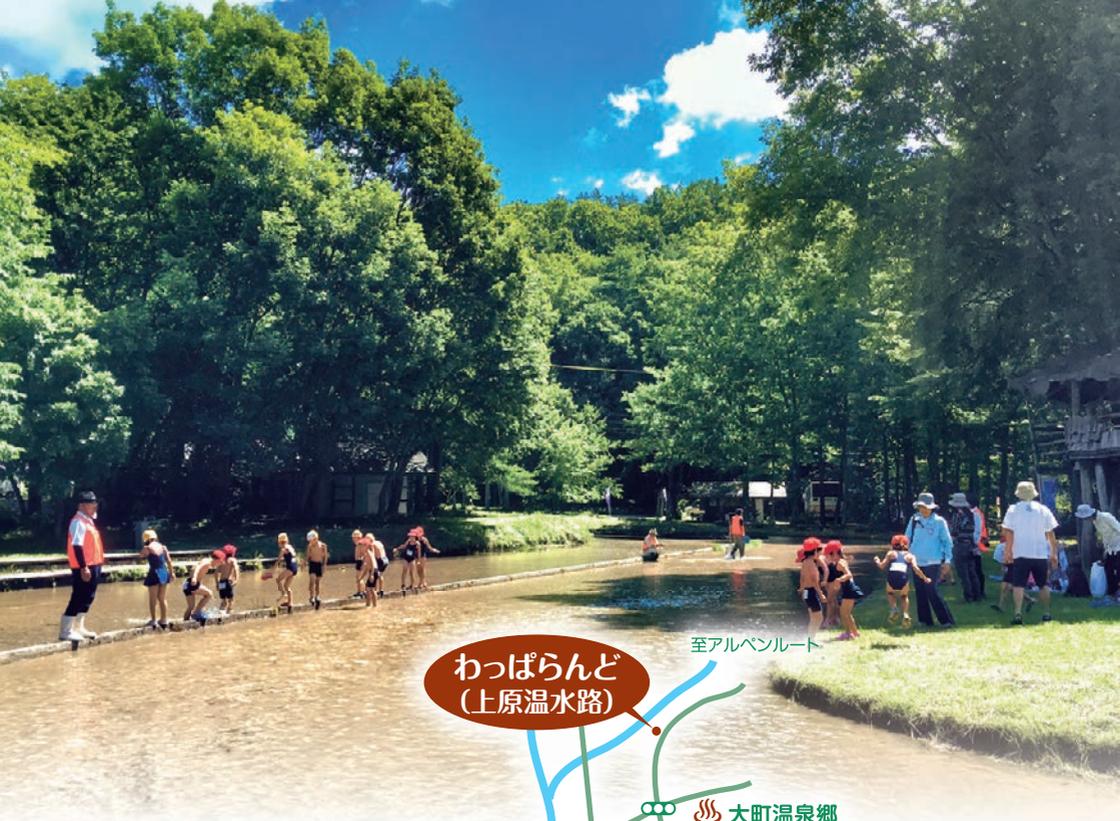
開拓の歴史に敬意を払い、丁寧に活動を続けていけば、ここはすぐ良い場所になると思っています。

わっぱらんどを育む会 副会長 朝重 孝治



## 20年のあゆみ（年表）

1999年	土地を所有する大町市農林水産課が、自然公園として整備しようとボランティアを募集。視察と会議を重ねて、どんな公園にしたいか案を出し合う。
2000年	「わっぱらんど」の名称が決まり「わっぱらんどの会」が発足。ヤブ刈りや倒木・枯木の除去等の整備開始、橋の建設、第1回わっぱらんど夏祭り。（全労済から環境活動事業助成）
2001年	ビオトープ池の整備、あずまの建設、維持管理作業、夏祭り等イベント。チェーンソー・のこぎり・草刈機など道具の購入。（公益信託富士フィルム・グリーンファンドから助成）県の土地改良事業により、駐車場、トイレ等が整備される。事務局が市から民間に移る。
2002年	車止め、ベンチなどの設置、夏祭り等イベント。（大町市「笑顔と元気でまちづくり」事業から活動助成）
2003年	小規模看板の設置、交流センターの建設、夏祭り等イベント、維持管理作業。（大町市「笑顔と元気でまちづくり」事業、セブンイレブンみどりの基金から活動助成）平成15年度第18回農村アメニティ・コンクールの選賞受賞。平成15年度農業農村整備調査計画功労者表彰（関東農政局）受賞。
2004年	5周年記念事業としてFM長野公開生放送「平河地一丁目」野外コンサート、野外ホールの建設、夏祭り等イベント、維持管理作業。（大町市「笑顔と元気でまちづくり」事業、長野県地球温暖化防止活動推進センターから活動助成）
2005年	エコツアー・視察の受入れ、夏祭り等イベント、維持管理作業。
2006年	野外ホールの修繕、夏祭り等イベント、維持管理作業。
2007年	夏祭り等イベント、維持管理作業（間伐含む）、市内小学生の課外授業受入れ開始。「わっぱらんどの会」の呼びかけにより「大町温泉郷ぐるったネットワーク」を設立。のちにNPO法人ぐるったネットワーク大町となる。（長野県「地域発元気づくり支援金」から活動助成、森林整備国庫補助）
2008年	夏祭り等イベント、維持管理作業（間伐含む）。第15回コカ・コーラ環境教育賞受賞。
2009年	10周年記念事業として、子供たちの参加のもと手作りでツリーハウスの建設。（日本財団から活動助成）
2010～ 2018年	夏祭り等イベント、維持管理作業を継続。市内小学校の課外学習受入れを拡大、教育旅行の受入れも始める。
2015～ 2017年	ぐるったネットワーク大町による森林機能多面的事業の中で、森林整備。
2016年	わっぱらんどの有効活用と活動の継続を考え、NPO法人ぐるったネットワークと合併。ぐるったネットワークの中の一部会として活動を継続することとなる。
2016～ 2018年	ぐるったネットワーク大町による地球環境基金事業の中で、ツリーハウス補修等。
2019年	20周年の節目を迎え、次の20周年に向かうために「わっぱらんどを育む会」設立。20周年記念イベント「ロングロング流しそうめん」を含む夏祭り開催、維持管理作業。（大町市「ひとが輝くまちづくり助成金」より活動助成）長野県知事表彰、大町市表彰。



**わっぱらんど  
(上原温水路)**



- JR信濃大町駅⇒大町温泉郷 ○車・タクシーをご利用の場合……………約10分
- バスをご利用の場合(扇沢または日向山行)……………約15分
- 長野自動車道豊科IC⇒R147經由オリンピック道路⇒大町温泉郷……………約40分

**わっぱらんどを育む会**

〒398-0002 長野県大町市大町 1559-4 ぐるったネットワーク大町内  
 TEL. 0261-85-0556 FAX. 0261-85-0557  
 ホームページ <https://wappa.grutta.net> e-mail : [info@grutta.net](mailto:info@grutta.net)

※この冊子は、令和元年度・大町市「ひとが輝くまちづくり事業」補助金を活用して作りました。  
 令和2年2月発行